

データアントレプレナー実践研修 ～データサイエンス先端事例研究会～

研修のご案内

2019年12月

国立大学法人電気通信大学
データアントレプレナーコンソーシアム事務局
e-mail: dep-office@sangaku.uec.ac.jp

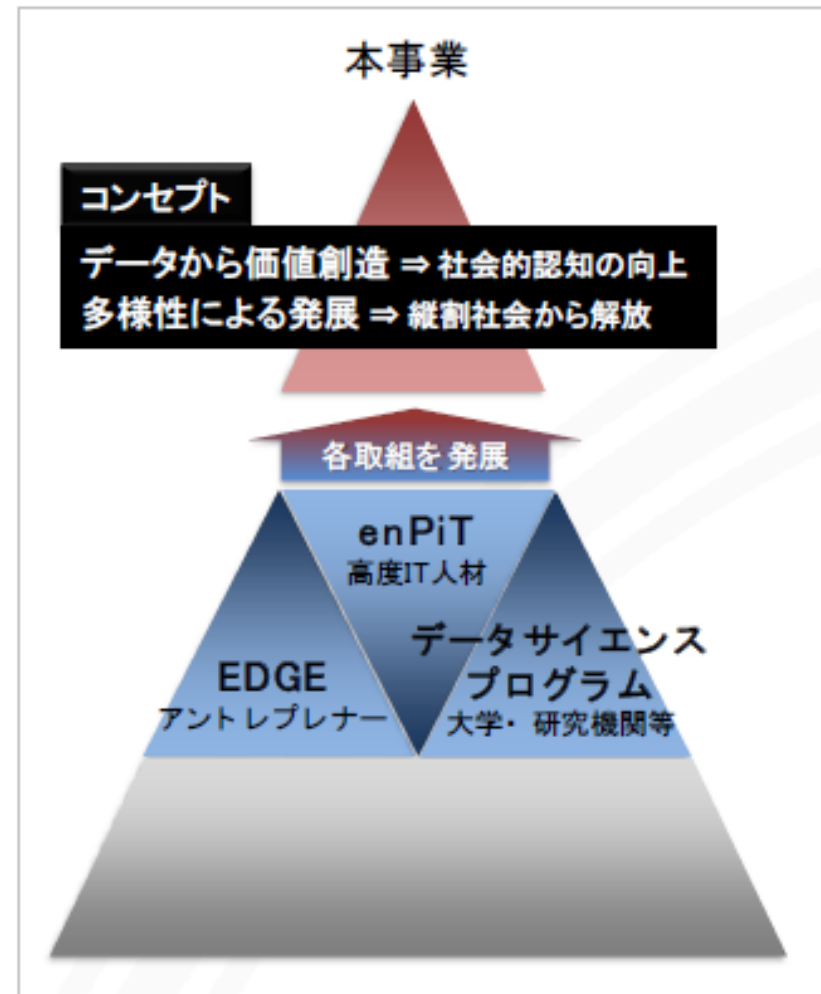
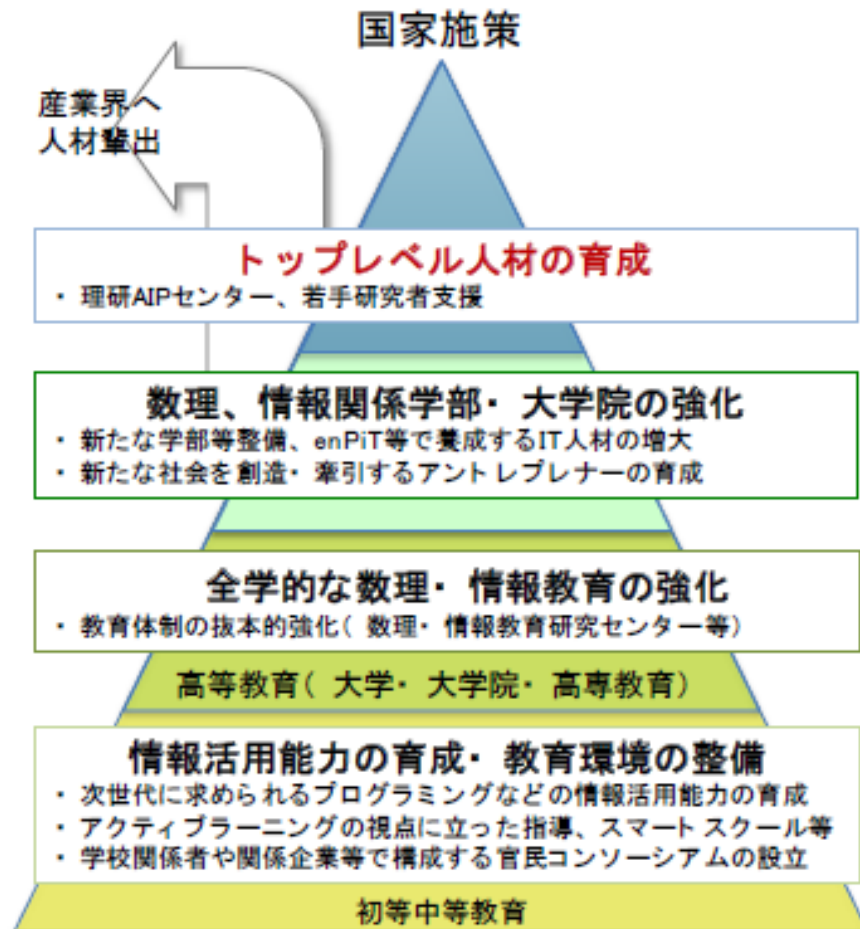
目次

1. はじめに
2. 企画概要
3. カリキュラム
4. 受講料
5. 問い合わせ先

1. はじめに

(1) データアントレプレナーコンソーシアムについて

文部科学省の補助事業として、データサイエンスのビジネス活用能力を備えたトップレベルの人材を産学官連携で育成し、産業界へ輩出するための取り組み



1. はじめに

(2) データアントレプレナー実践研修について

データアントレプレナーコンソーシアム(以下、コンソーシアム)の目的は、データアントレプレナーフェロープログラムの目的や事業内容に賛同した分野を越えた多様な機関で形成し、各機関のネットワークを通じてそれぞれの知見の相乗効果により、人材の発掘、育成、活躍促進を進めることです。

その一環として、データサイエンスのユーザ企業同士が情報交換および相互研鑽出来るネットワーク創造を目指します。

本活動では以下の参画機関3社を中心としたグループを結成し、データサイエンスの有名企業事例の講演等を共同で企画します。

※登壇者のキャスティングには、データサイエンティスト協会からご支援頂きます

<コンソーシアムメンバー>

代表機関

国立大学法人電気通信大学

参画機関

コニカミルタ株式会社
アスクル株式会社
株式会社ALBERT
株式会社エクサウィザーズ
株式会社キャンパスクリエイト
株式会社金融エンジニアリング・グループ
株式会社データフォーシーズ
株式会社ネットラーニング
株式会社野村総合研究所
学校法人津田塾大学

※上記3社が中心となって企画

連携機関

富士ゼロックス株式会社
一般社団法人Python エンジニア育成推進協会
一般社団法人スーパー連携大学院コンソーシアム
国立大学法人東京農工大学
調布市商工会
株式会社GA technologies
KDDI株式会社
株式会社SIGNATE
ソニー損害保険株式会社
株式会社ナイトレイ
パーソルキャリア株式会社
学校法人青山学院 青山学院大学
学校法人早稲田医療学園人間総合科学大学
ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社

2. 企画概要

名称	データアントレプレナー実践研修 ～データサイエンス先端事例研究会～
主催	データアントレプレナーコンソーシアム
参加対象	事業会社に所属し、データサイエンスに関心が高いビジネスマン (裁量がありデータサイエンティストの部下をお持ちの部長・課長クラスを想定)
統一テーマ	データサイエンスでビジネスを創る
目的	ビジネス創造におけるデータサイエンス活用の要諦把握 データ活用ビジネスにおける課題解決に向けた、各自のアクションプラン導出 データサイエンス特有のナレッジ・インサイト獲得と人脈形成
活動概要	データサイエンスの先進企業の実務家や有識者等を招聘した講演会と、アクションプラン作成および相互交流のためのワークショップ等を企画・運営
日程	2020年1月から隔週程度で5回。各回は平日15時～18時開催予定。 (初回、と最終回の後に懇親会を予定)
形式	講演×2+グループ(5～6名)ワークショップ
定員	20名程度

2. 企画概要

- 本研修では、ビジネスへのデータ活用(新規ビジネス創出、既存業務改革等)において、受講者ご自身の業務上のミッションに対する課題を整理いただき、毎回の講演聴講やグループでの議論を通じて、解決のためのヒントを見つけ出し、今後のアクションプランをまとめていただく活動を行います。
- より近しい課題感を持っていらっしゃる受講者でグループを組んで頂くために、事前にアンケートを実施させていただく予定です。
- 最終日には、ご自身のまとめたアクションプランを簡単に発表いただきます。(共有可能な範囲で構いません。)

3. カリキュラム

(1) テーマと登壇者

日程(予定)	テーマ	概要	登壇者
2020年 1月20日(月) (NRI東京本社・ 大手町GC)	・データサイエンスのビジネス 概論 ・活動事例(産学連携など)	成功したユーザ企業の秘訣や 活用されているユーザ企業の 紹介。自社との違いを知る。各 社・各自の課題の整理。	ヤマトホールディングス株式会社 Data Strategy Executive 中林紀彦 様
			電気通信大学 産学連携センター 特任教授 斉藤史朗様
1月29日(水) (TKP大手町カン ファレンスセンター)	・データサイエンスのビジネス 創出(業務改革) ・データサイエンスでのビジネス 創出(業務改革)の事例	ビジネス創出(業務改革)の仕 方のポイントやビジネス創出 (業務改革)した企業の紹介	野村総合研究所 インサイトシグナル事業部 部長 塩崎潤一様
			キューピー株式会社 生産本部 生産技術部 部長 荻野武 様
2月13日(木) (TKP日本橋カン ファレンスセンター)	・リソース獲得や外部リソース の活用。 ・人材育成	企業内部での人材育成活動。 リソース獲得の活動 外部リソースを活用するために 必要なこと	DataRobot Japan チーフ・データサイエンティスト シバタアキラ様
			株式会社電通 データ・テクノロジーセンター チーフ・データサイエ ンティスト 眞鍋尚行 様
2月28日(金) (TKP大手町カン ファレンスセンター)	・データサイエンス関連組織 の設計 ・経営へのアピール	企業内部の組織の整備活動 DX組織の長として、どのように 経営へアピールすべきか。	トランスコスモス株式会社 デジタルマーケティング・EC・コンタクトセンター統括 アナリティクスセン ター統括部 部長 北出大蔵様
			コニカミノルタ株式会社 IoTサービスPF開発統括 部 データサイエンス技術部 第1グループ グループリーダー 東立様
3月10日(火) (NRI東京本社・ 大手町GC)	・総論	各自の今後のアクションプラン のまとめ	電気通信大学 産学連携センター 教授 田村元紀 様
			電気通信大学 産学連携センター 特任教授 斉藤史朗様

3. カリキュラム

(2) 登壇者紹介

第1回 2020年1月20日(月)

ヤマトホールディングス株式会社
Data Strategy Executive 中林紀彦 様



日本アイ・ビー・エムでデータサイエンティストとして、データ分析の観点から顧客企業の課題解決に貢献。またビッグデータのビジネス活用に関するエバンジェリストとしても活動する。その後オプトホールディング データサイエンスラボ副所長を経て、2016年にSOMPOホールディングス。2019年よりヤマトホールディングスに入社。筑波大学大学院の客員准教授としてデータサイエンスに関する人材育成にも従事。

電気通信大学 産学連携センター
特任教授 齊藤史朗様



実務においてリスク管理、マーケティング領域や不正検知案件のデータ分析をおこなって来た。近年はデータサイエンティスト育成や産学連携に従事。一般社団法人データサイエンティスト協会 事務局長。データサイエンティストの養成講座・セミナー・勉強会やシンポジウムの企画・運営などを行う。訳書「マスタリング・データマイニング」「データマイニング手法 改訂第三版」(海文堂/共訳) 他。電気通信大学特任教授。博士(社会学)

3. カリキュラム

(2) 登壇者紹介

第2回 2020年1月29日(水)

野村総合研究所 インサイトシグナル事業部
部長 塩崎潤一様



1990年4月 株式会社野村総合研究所入社
2016年4月 同社 インサイトシグナル事業部 部長
野村総合研究所にて、オリジナルのマーケティングデータ
(シングルソースデータ)を取得して、広告の効果測定を
行うビジネスを創業
2018年4月時点では170社が利用する業界標準の
サービスまで成長
「第三の消費スタイル」(2005年9月、野村総合研究所、
主要執筆者)
・大衆化するIT消費」(2007年11月、東洋経済新報社、
主要執筆者)

キューピー株式会社
生産本部 生産技術部 部長 荻野武様



日立製作所中央研究所での半導体、撮像素子、アナログ・
デジタル信号処理の研究から始まり、この研究成果を持って、
工場・事業部門で開発、設計、SE、商品企画、事業企画を担当。
シリコンバレーにおいて日立初のインターネットコマース、日立
初のクラウドサービス型サーベイランス事業、DVDカメラ事業
等、各種新規ビジネスを立ち上げ、帰国後、本社にて脳科学
を始めとする様々な新規事業立ち上げ、新興国都市開発、各
種全社新規事業のインキュベーションの後、「人の幸せは食から」と確信し、ご縁の下、2016年4月にキューピーに転職。
現在、次世代・未来技術推進担当としてAI等各種次世代技術
の実活用に取り組む。
MOT / MBA、日本イノベーション融合学会専務理事。

3. カリキュラム

(2) 登壇者紹介

第3回 2020年2月13日(木)

DataRobot Japan

チーフ・データサイエンティスト シバタアキラ様



ロンドン大学高エネルギー物理学博士課程修了。
ニューヨーク大学でのポストドク研究員時代に加速器データの統計モデル構築を行い「神の素粒子」ヒッグスボゾン発見に貢献。その後ボストン・コンサルティング・グループでコンサルタントとして、主にTMT/製薬業界でのデータ分析業務に従事。AIニュースキュレーションアプリ「カメリオ」を提供する白ヤギコーポレーションの創業者兼CEOを経て2015年にDataRobot Japanの立ち上げに一人目のメンバーとして加わる。

株式会社電通

データ・テクノロジーセンター

チーフ・データサイエンティスト 眞鍋尚行様



事業会社にて、顧客データベースを活用した大規模データ解析ならびに戦略立案に従事。その後、金融系シンクタンクにて、経営/マーケティング戦略のコンサルティング業務を経て、2010年に電通に入社。

電通入社後は、データドリブンなマス広告×Web広告のオンオフ統合マーケティングを推進し、DMPの開発及び、さまざまなクライアントに対してソリューションを提供。

Adtech Tokyo2015/2016登壇 データサイエンティスト協会
企画委員長 日本マーケティングサイエンス学会正会員

3. カリキュラム

(2) 登壇者紹介

第4回 2020年2月28日(金)

トランスコスモス株式会社
デジタルマーケティング・EC・コンタクトセンター統括
アナリティクスセンター統括部 部長 北出大蔵様



2002年トランスコスモス入社。調査・分析やAI・データ活用
のコンサルティングに従事。
2012年に子会社のトランスコスモス・アナリティクスを設立し、
同COOを兼務。
現在は本社でAIやCXを研究する「コミュニケーションサイエ
ンスラボ」の所長も兼務。
著作に『ダブルファンネルマーケティング』等がある。

コニカミノルタ株式会社
IoTサービスPF開発統括部
データサイエンス技術部 第1グループ
グループリーダー 東立様



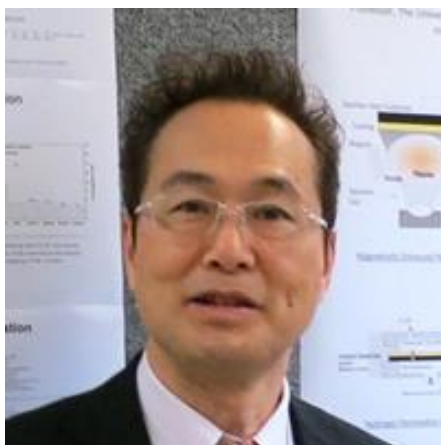
2008年にコニカミノルタソフトウェア研究所に入社。
約10年間のデータサイエンスの研究を経て
2017年にコニカミノルタ株式会社に入社し
専門組織の設立とともに社内の人財育成に尽力している。
新規事業創出の支援に加えて、予知保全やデジタルマニ
ュファクチャリングなどのIoTデータの分析に取り組み社内
DXに貢献している。

3. カリキュラム

(2) 登壇者紹介

第5回 2020年3月10日(火)

電気通信大学 産学連携センター
教授 田村元紀 様



新日本製鐵株式会社を経て、文部科学省、東北大学、東京工業大学、東京農工大学にて産学官連携に関する研究を推進後、電気通信大学に着任。産学官連携センター、学長補佐・教授。プログラムマネージャ(講座責任者)。博士(工学)東京大学。技術士(金属部門)。

電気通信大学 産学連携センター
特任教授 齊藤史朗様

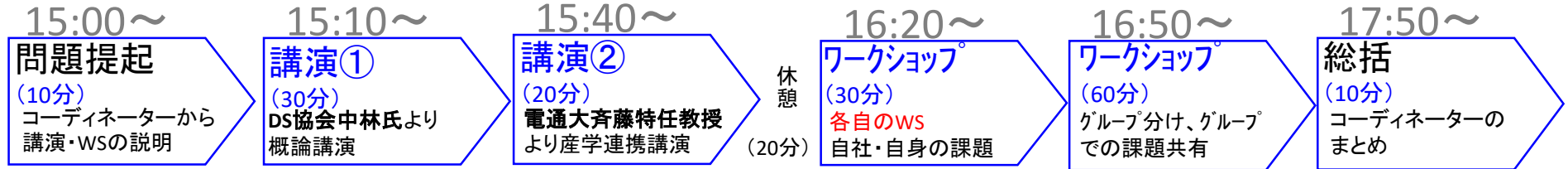


実務においてリスク管理、マーケティング領域や不正検知案件のデータ分析をおこなって来た。近年はデータサイエンティスト育成や産学連携に従事。一般社団法人 データサイエンティスト協会 事務局長。データサイエンティストの養成講座・セミナー・勉強会やシンポジウムの企画・運営などを行う。訳書「マスタリング・データマイニング」「データマイニング手法 改訂第三版」(海文堂/共訳)他。電気通信大学特任教授。博士(社会学)

3. カリキュラム

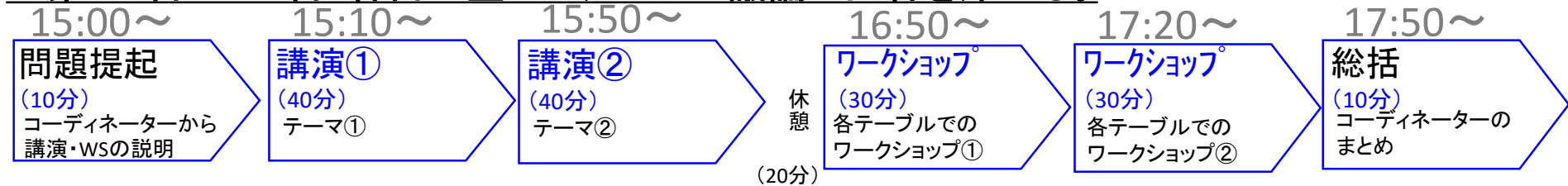
(3)各回の研修の流れ

●第1日目：概要の理解と自社・自身の課題の確認

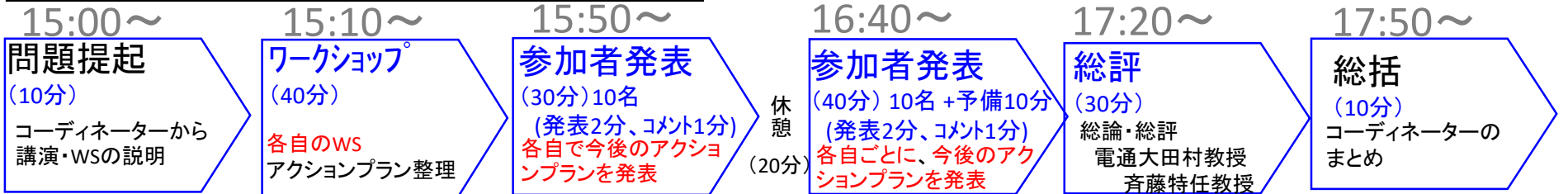


宿題:各自の課題のアクションプラン検討のテーマを決める。状況確認、情報収集。

●第2日目～4日目：各自の整理とグループ議論で内容を深める。



●第5日目：今後のアクションプランを発表



3. カリキュラム

(3)各回の研修の流れ

全5回のワークショップで検討して参ります。

回	ワーク分類	ワーク内容	時間 (目安)
初日	グループ	自己紹介	5分
	個人	ありたい姿(To-Be)・現状(As-Is)を書き下す	30分
	グループ	ありたい姿(To-Be)・現状(As-Is)のグループ内共有	30分
	グループ	ありたい姿(To-Be)・現状(As-Is)のグループ内での質疑・意見交換	15分
	個人	質疑・意見交換を受けたありたい姿(To-Be)・現状(As-Is)の修正	15分
(宿題)	個人	問題点を観点(仮案)ごとに書き下す ①ビジョン/経営コミット、②データ、③IT環境、④人材・組織、⑤成果創出	-
2日目	グループ	書き下した観点ごとの問題点の、グループ内共有	30分
	グループ	書き下した観点ごとの問題点の、グループ内での質疑・意見交換	15分
	グループ	質疑・意見交換を受けた問題点の修正	15分
(宿題)	個人	問題点ごとに、解決のために取り組むべきことを書き下す ①ビジョン/経営コミット、②データ、③IT環境、④人材・組織、⑤成果創出	-
3日目	グループ	解決のために取り組むべきことの、グループ内共有	30分
	グループ	解決のために取り組むべきことの、グループ内での討議 ：他の人の問題点+取り組むべきことについて、考えを述べる	30分
(宿題)	個人	3日目の議論を受けて、解決のために取り組むべきことを修正	-
4日目	グループ	解決のために取り組むべきことの、グループ内共有	15分
	個人	アクションプランとして、実行計画への落とし込み ：解決のために取り組むべきことを、時間軸に落とし込む	30分
	グループ	アクションプランのグループ内共有	15分
(宿題)	個人	1～4日目の議論を受けて、ありたい姿(To-Be)～アクションプランまでを再整理 (A3 1枚への整理を想定)	-
5日目	個人	発表準備	10分
	グループ	全体の前で発表 (1名5分 × 20名 = 100分)	100分
		総評	30分

4. 受講料

(税込み)

受講料	99,000円/名
------------	------------------

※懇親会費用を含む

5. 問い合わせ先

- 本研修講座についてのお問い合わせ、お申し込みについては、データアントレプレナー実践研修事務局までご連絡をお願いいたします。

【問い合わせ先】

データアントレプレナー実践研修事務局

(野村総合研究所内 担当 姫野)

電話:045-613-8700

e-mail:41hrd-de-jimu@nri.co.jp